

- ・留学期間：2年次 夏期
- ・所属学科：こども教育学科

はじめに

まず初めに私が短期留学に行こうと思ったきっかけは、自分の英語のスキルを伸ばしたいと考えたからです。実際に現地に行きホームステイの人や TRU の人と会話することにより自分の力を試せると考えたからです。

ホームステイ先について

私は初めてホームステイを経験しました。最初、行く前は不安や緊張の思いでいっぱいでした。ですが、カムループスの空港で暖かく迎え入れてくださり「疲れた？」「どのくらいお腹すいている？」などと気にかけてくださったのが嬉しかったです。ホストファミリーとの思い出は、カムループス最終日に高校一年生の長男が出場しているホッケーの試合を見に行ったことです。カナダではホッケーというスポーツが凄く人気のようで、各家庭にホッケーのゴールが置かれているところをよく見かけました。私は初めてホッケーの試合を生で見たのですが、想像していた数倍激しくて驚きました。試合を見た後はホストファミリーと一緒にお寿司屋さんでご飯を食べました。日本では、お寿司屋さんで聞くと寿司がメインで売っているところが多いですが、カナダではうどんや巻き寿司などメニューの種類が豊富で見ているだけで凄く楽しかったです。

TRU での様子について

授業では 6 つのクラスに分かれて行き、それぞれのクラスに担任の先生（私の担任は Jenna 先生）とインストラクターの先生がついていました。また、クラスには日本以外にも韓国やメキシコから来ている学生がいました。色々な国の人がいても、Jenna 先生の授業はとても楽しいものでした。授業では、カナダの地図がパズルになっているものを完成させながら地図を覚える活動や、カナダのお金について学ぶ活動をしました。また、最後の授業ではカナダにまつわるビンゴを行いました。普通のビンゴではなく、縦のラインだけや横のラインだけ四角、最後は全部穴が開くまでといった Jenna 先生のオリジナルルールで楽しくカナダについて学ぶことができました。ビンゴには数字ではなく、カナダの動物やお金、州の名前やカナダを代表するものがイラストで描かれていました。選択授業では、Healthy を選びました。ここでは、ストレスが心身に与える影響について学び、最後の授業ではヨガを行いました。アクティビティは以下の 5 つを行いました。その中でも特に印象に残っているのは、カヤックです。なぜなら、初体験であり大自然の中でゆったりと自分のペースで漕ぐことができたからです。

① Historic Hat Creek Ranch について

ここでは、農場体験をしました。この施設では 1860 年代のゴールドラッシュ旅行者が使用したオリジナ

ルの建物を探索する珍しい機会を提供している場所でした。家具やベッドが当時のまま残されていて、まるでタイムスリップした気分になりました。また、当時の現地の遊びも体験しました。それは、袋の重しが左右について木でキャッチするという遊びです。やってみて感じたことは、投げるときに思ったより飛びすぎたり逆に相手のパスを取れなかったりと苦戦する場面が多かったです。

(現地の遊び)



② Indoor Rock Climbing について

ここでは、屋内ロッククライミングを体験しました。私は初めての経験でしたが恐怖感はありません。挑戦したいという気持ちでいっぱいでした。クライミングの壁は約6メートル近くあり、つかむ岩はぶつかると痛く、掴みやすい形のものもあれば全く掴めない岩もありました。しかし、それを見極めながら頂上を目指して登っていくのがとても楽しかったです。中でも特に難しかった壁は下の写真の手前の凹凸がある紫色の壁です。掴みにくい岩が多く、どのように攻略したら良いか分からず、何度挑戦しても頂上までたどり着きませんでした。



③ Dreamcatchers について



ドリームキャッチャーとは、カナダの先住民インディアンであるオジブワ族によって「悪夢から守る」意味を込めて作られた装飾品のことです。ドリームキャッチャー本体の丸いところで悪い夢を吸い取って、下に繋がっている紐から良い夢を流すという意味が込められているそうです。ドリームキャッチャーを作る際は、それぞれが好きな色を選ぶので一人一人オリジナルのドリームキャッチャーを作ることができます。また、完成したものはお土産として日本に持って帰ることができたので凄く貴重な体験になりました。作っている最中は細かい作業が多く、苦戦したけれどグループの友達と協力したり先生に聞いたりしながら完成させることができました。

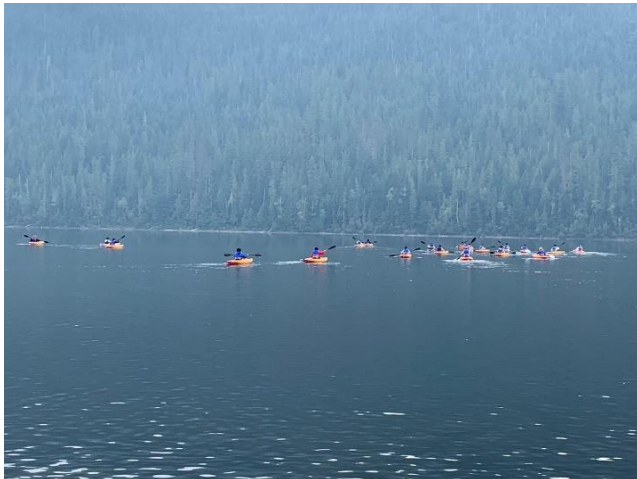
④ Golf について

私は初めてゴルフを体験しました。まず、着いて初めに思った事は、敷地の広さに驚いたことです。日本では山に囲まれた広大な敷地の中にゴルフ場があるところは少ないと思います。最初はお手本でインストラクターの方が何本か打ってくださいました。それを見て、私も高く遠くに飛ばすことができると思ったのですが、club が思った以上に長くて重たく、高く飛ばすのが難しかったです。また、ショートホールではホールインワンを目指して何度も打ちましたが力加減が難しくなかなか入りませんでした。ゴルフは私が思っていたよりも難しくコツを掴むまでに何回も練習が必要だと感じました。



⑤ North Barriere Lake Resort について

ここでは、カヤックを体験しました。一人一台のカヤックに乗り、パドルという道具を使って自分の手で漕いでいきます。カヤックのパドルはカヌーとは異なり左右にブレードが付いているため、交互に漕いでいきます。初体験で感じたことは、水を漕ぐのに思った以上に力が必要で、真っ直ぐ進むと思っても思うように行かないことが多かった印象です。お昼にはスタッフの方が全員分のホットドックを作ってください、それがとても美味しかったのを覚えています。カヤックの他にバスケやバレー、バドミントン、サッカーなどを楽しみました。また、他のグループがカヤックをしている時は自由時間で写真を撮ったり友達と話したり、水に飛び込んだりとみんなそれぞれの時間を楽しんでいました。



気候について

カムループスの気候は、朝晩が寒いときが多く、朝は最低 10°近くまで下がりました。昼間は気温が高く 35°を超える日が多かったです。しかし、日本に比べると湿気があまりないため蒸し暑さよりはカラッとしている印象でした。また、日本よりも日差しがきつく紫外線が強いような気がしました。また、カムループスでは

山火事の影響が続いているため一週間に1、2回ほど空気が濁り、辺り一面が煙に包まれているときがありました。その時はマスクをしても煙が肺に入ってきているような感じで、空気が臭くて息をするのがやっとでした。現地で思った事は、日傘や雨傘を差している人を一人も見かけなかった事です。以前どこかで聞いたことはあったけれど、本当に一人も差している人がいないことに驚きました。どんなに雨が降ってもフードをかぶって凌ぐところが、日本との一つの習慣の違いだと感じました。

将来 TRU に行く人へ

TRU の短期語学留学に行こうか迷っている人で英語力が全然なくても行けるチャンスがあるなら行くことを強くおすすめします。私も、英語は好きだけれど全然得意ではなく、行く前まで不安の気持ちでいっぱいでした。しかし、大学の先生方が親身に話を聞いてくださり不安な気持ちが段々と和らいでいきました。英語が完璧にできていなくても行きたいという強い気持ちさえあれば現地でも自分の気持ちは必ず伝わると思います。私も完璧に英語ができるわけではないけれど、ジェスチャーと伝える気持ちで何とか乗り切ることができました。私がお世話になったホームステイ先の方も優しく、分からない時は携帯で翻訳を見せて下さったので安心して楽しく3週間を過ごせると思います。私はこの研修に参加することで自分や日本という国を客観視することができるようになりました。良いところや悪いところなど、やはり自分の目で見ないと分からない部分も多いと感じます。また、普段の授業ではなかなか知ることのできなかつたフレーズや英単語などを日常的に使っている様子を見聞きすることができたのは大きな違いだと感じました。是非それを見つけていってください。